

北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会議事要旨

日時：平成26年5月13日（火）10:30～12:00
場所：企業局大会議室

【開催要領】

- 1 開催日時：平成26年5月13日（火）10:30～12:00
- 2 開催場所：北海道企業局大会議室（道庁別館10階）
- 3 出席委員（五十音順）：

委員	原田	実	（株）北海道二十一世紀総合研究所 取締役業務総括総務部長
委員	平池	暁	（北海道経済連合会 食クラスターグループ 総括部長）
委員長	湊	孝康	（NPO法人遺伝子栄養学研究所 理事）
委員	村上	淳	（株）道友エージェンシー 代表取締役社長

【次第】

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 北海道工業用水道事業の経営状況等について
 - ・平成26年度当初予算の概要について（北海道工業用水道事業）
 - ・経営健全化期間中にみる石狩工水における業種別契約水量の状況について
 - (2) 需要開拓の取組状況について
 - ・平成25年度需要開拓の取組内容について
 - ・平成26年度需要開拓促進年間行動計画（案）について
 - (3) 石狩湾新港地域における各種施策の動向について（情報提供）
 - ・高温超電導直流送電システム実証事業について
 - ・石狩湾新港港湾計画の一部変更について
 - ・分散型エネルギーインフラプロジェクトについて
- 3 その他
- 4 閉会

【意見等要旨】

事務局より資料の説明後、委員から次のとおり意見等があった。

（需要開拓の取組みについて）

- 工業用水道事業の経営においては、石狩工水の契約水量と計画水量の乖離を縮めることが重要である。
- 石狩工水の需要開拓を進める上では、中長期的な視野を持ち、様々な分野の研究開発などについて、情報収集を行っておくべきである。また、水を多く使用する産業に重点的にPRする等、戦略的に取り組む必要がある。
- 工業用水の需要開拓は、企業誘致と一体で進めることが必要であり、またトップセールスも重要である。
- 北海道庁内の関係部局と連携を密にして、道内、国内の企業だけではなく、アジアを中心とした海外にも道営工水の情報を発信する必要がある。
- インターネットを利用したPR活動の一環として、SNS等の活用を検討してみてもどうか。